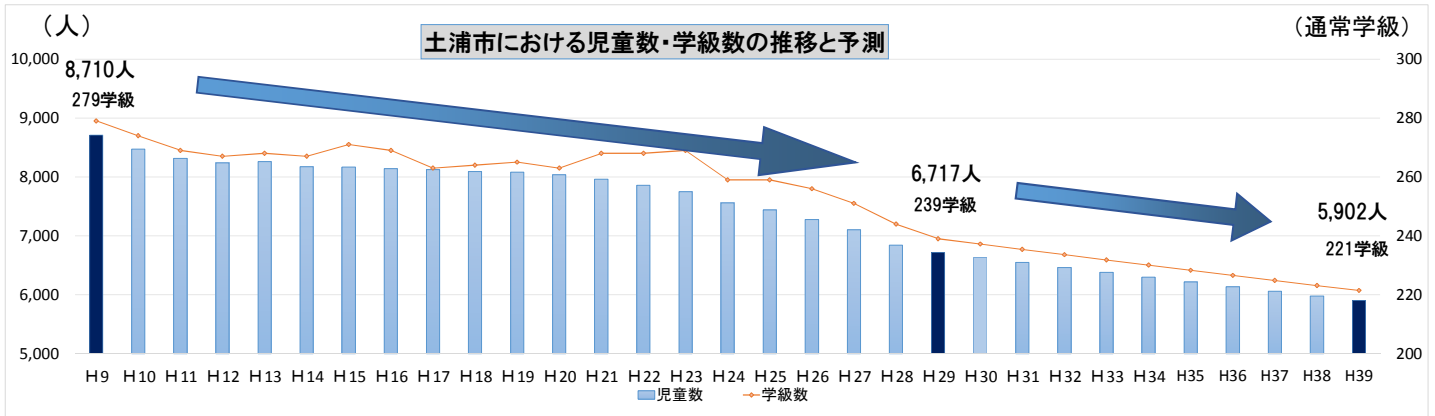


子どもたちのより良い教育環境のために

土浦市教育委員会では、少子化に伴う児童生徒数の減少を踏まえ、平成21年10月に学識経験者や学校・保護者代表者等で構成される「土浦市立幼稚園、小学校及び中学校適正配置等検討委員会」を設置し、平成23年2月に「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」を策定いたしました。



土浦市立小学校の状況について



全国的な少子化が進む中、土浦市においても小学校の児童数の減少が見込まれます。具体的には、児童数を比較すると平成9年度と平成29年度では1,993人（約23%）減少となりましたが、平成29年度と平成39年度ではさらに約815人（約12%）の減少が見込まれます。同様に学級数を比較すると、平成9年度と平成29年度では40学級（約14%）減少となりましたが、平成29年度と平成39年度ではさらに約18学級（約8%）の減少が見込まれます。

少子化に伴う児童数の減少により、今後の児童の教育環境への影響が懸念されていることから、学校の適正規模と適正配置を再考し、望ましい教育環境の維持・向上を図る必要があります。



「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」の概要

■学校の適正規模の基本的な考え方

小学校：12学級以上（1学年2学級以上）
※統合を考慮の場合は24学級以下を目安とする

中学校：9学級以上（1学年3学級以上）
※統合を考慮の場合は18学級以下を目安とする

■学校の適正規模・適正配置に向けた方策

①隣接する学校との統合

隣接する小規模校がある場合、学習環境が良い方などに編入します。

②学校の再編成・新設

近隣に小規模校が2～3校あり学校用地が確保できれば、学校を再編成・新設します。

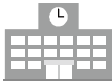
③通学区域の見直し

適正規模校の通学区域の一部を、周辺の適正規模に満たない学校の通学区域に編入します。



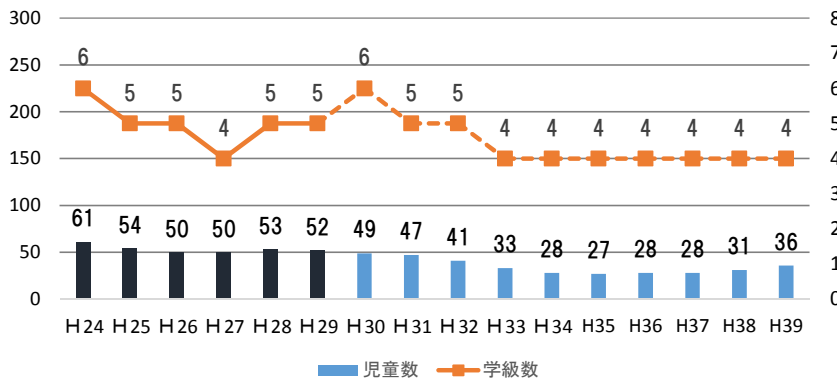
各小学校別の児童数・学級数の状況				
学校名	通常学級児童数	通常学級学級数	特別支援児童数	特別支援学級数
土浦小	610	20	16	3
下高津小	622	20	20	3
東小	485	16	17	3
大岩田小	403	14	21	4
真鍋小	824	26	32	5
都和小	443	15	20	4
荒川沖小	328	12	10	2
中村小	388	12	6	2
土浦二小	536	18	21	4
上大津東小	277	11	16	3
上大津西小	52	5	0	0
神立小	426	13	38	5
右巻小	279	11	15	3
都和南小	226	10	14	3
乙戸小	324	12	9	2
菅谷小	144	6	8	2
藤沢小	210	7	16	3
斗利出小	58	5	0	0
山ノ荘小	82	6	5	2
合計	6,717	239	284	53

※平成29年5月時点



上大津西小学校の現状と課題

児童数・学級数の推移と予測



学年別児童数・学級数の状況

学年	児童数	学級数
1学年	5	1
2学年	13	1
3学年	9	1
4学年	9	1
5学年	8	1
6学年	8	1
計	52	5
(特別支援)	0	0

※平成29年5月時点

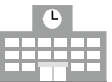
※5学年及び6学年は複式学級

小学校施設状況

施設	建築年月日	耐震性
校舎1	S32.10	有
校舎2	S49.3※	有
校舎3	S63.3	有
体育館	S57.3	有

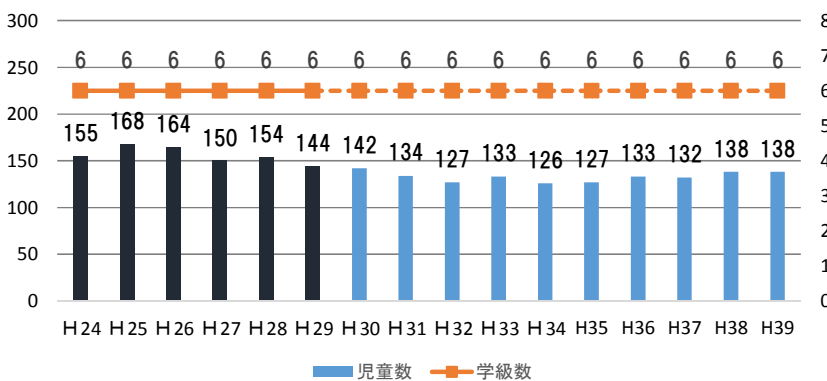
※H19 耐震補強済み

- ① 土浦市の適正規模の基本的な考え方である「12 学級以上」の適正規模に満たない小規模校となっています。
- ② 今後も児童数の減少傾向と複式学級の状態が続くことが予想されます。



菅谷小学校の現状と課題

児童数・学級数の推移と予測



学年別児童数・学級数の状況

学年	児童数	学級数
1学年	22	1
2学年	26	1
3学年	18	1
4学年	25	1
5学年	33	1
6学年	20	1
計	144	6
(特別支援)	8	2

※平成29年5月時点

※左のグラフについては、特別支援学級児童数を除いています。

小学校施設状況

施設	建築年月日	耐震性
校舎	S61.3	有
体育館	S61.3	有

- ① 土浦市の適正規模の基本的な考え方である「12 学級以上」の適正規模に満たない小規模校となっています。
- ② 今後も児童数の減少傾向が見込まれます。



学校規模による適正化の考え方

学校には、学級数や児童数の学校規模によって様々なメリット・デメリットがあり、各々の学校によって、当てはまるものと、そうでないものもありますが、土浦市においては、子どもたちのための総合的な教育の観点から、より高い効果を得るためには、**学校規模の適正化（ある程度の児童数）が必要**であると考えています。

■ 学校規模別にみるメリット・デメリット

【12 学級未満】

- ・児童一人ひとりと教師のコミュニケーションがよく図られる
- ・家庭的な雰囲気の中で勉強ができる
- ・上級生と下級生の学年を超えた仲間意識が強くなる 等

- ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- ・クラス替えが出来ず、役割や人間関係が固定化する
- ・多人数での団体競技・合唱・学校行事などが難しい 等

【12 学級以上】

- ・勉強・スポーツ等でお互いに切磋琢磨することができる
- ・クラス替えにより、新たな価値観や人間関係を築きやすい
- ・多人数での団体競技・合唱・学校行事ができる 等

- ・児童一人ひとりに目が行き届きにくい
- ・一人あたりの活躍の場が少なくなる
- ・学年を越えての交流や一体感が生まれにくい 等

土浦市教育委員会では、「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」を踏まえ、上大津西小学校と菅谷小学校の保護者及び地域住民の方々等を対象に、平成24年11月から「適正規模・適正配置の考え方について」の説明会を開催し、基本方針の趣旨の説明及び小学校の適正規模・適正配置に関する意見交換を行ってまいりました。

この意見交換の結果を踏まえ、上大津地区の小学校の適正配置の方向性と今後の取り組みをまとめた平成25年2月に「土浦市立小学校適正配置実施計画」を策定いたしました。



土浦市立小学校適正配置実施計画（上大津地区）

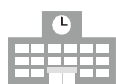
■上大津西小学校、菅谷小学校の適正配置の進め方

上大津西小学校と菅谷小学校は、今後も児童数の予測が減少傾向と見込まれます。しかしながら、この2校による統合では1学年2学級以上の学級編制ができる児童数には及ばない状況です。

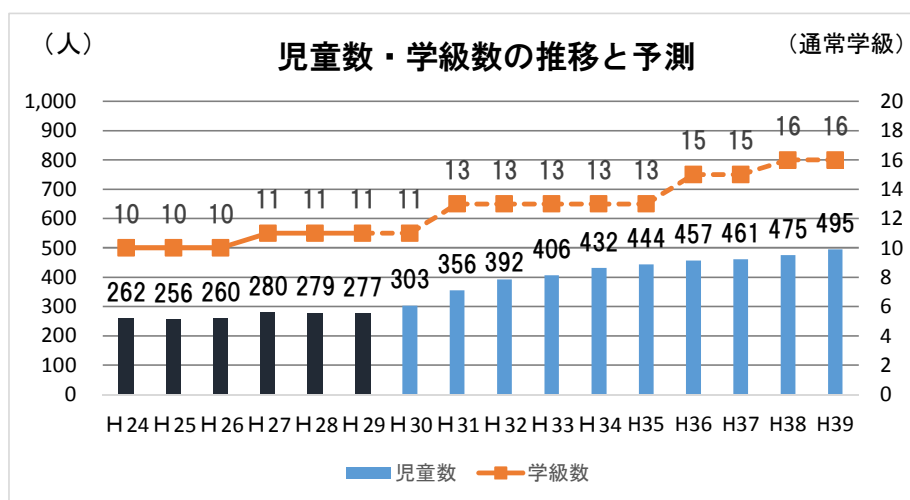
このため、適正規模を確保するためには隣接する神立小学校や上大津東小学校との統合が考えられますが、神立小学校との統合については、鉄道により学区が分断されることや、学区の範囲が広大になり過ぎることなどから、統合については問題が多いものといえます。

また、上大津東小学校との統合については、おおつ野団地において着実な定住化が進む中、同団地への土浦協同病院の進出に伴う一層の人口定着が予想され、このことは今後の（上大津東小学校の）児童数の推移にも影響を与えることから、現時点（平成25年2月時点）では結論を見出しにくい状況にあります。

しかしながら、基本方針に示された子どもたちのより良い教育環境の実現のためには、学校の配置の見直しは避けられないものと考えられます。



上大津東小学校の現状と課題

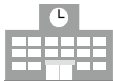


学年別児童数・学級数の状況		
学年	児童数	学級数
1学年	51	2
2学年	38	2
3学年	58	2
4学年	42	2
5学年	35	1
6学年	53	2
計	277	11
(特別支援)	16	3

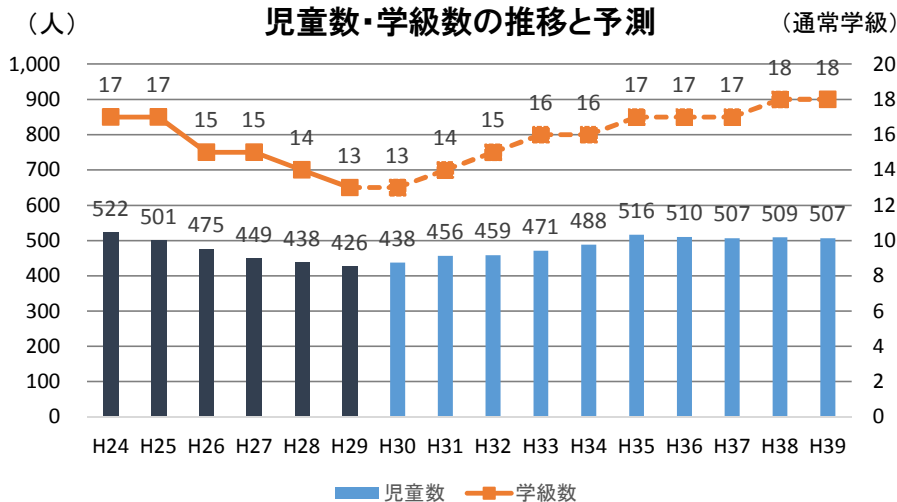
※平成29年5月時点
※左のグラフについては、特別支援学級児童数を除いています。

小学校施設状況		
施設	建築年月日	耐震性
校舎1	S53.3	有
校舎2	S58.3	有
校舎3	H14.9	有
校舎4	H23.3	有
校舎5	H26.3	有
体育館	S57.1	有

平成29年5月時点では土浦市の適正規模の基本的な考え方である「12学級以上」の適正規模に満たない小規模校となっていますが、今後については児童数の増加傾向と、それに伴う学級数の増加傾向も見込まれます。



神立小学校の現状と課題



学年別児童数・学級数の状況

学年	児童数	学級数
1学年	61	2
2学年	73	3
3学年	72	2
4学年	77	2
5学年	67	2
6学年	76	2
計	426	13
(特別支援)	38	5

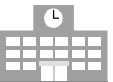
※平成29年5月時点

※左のグラフについては、特別支援学級児童数を除いています。

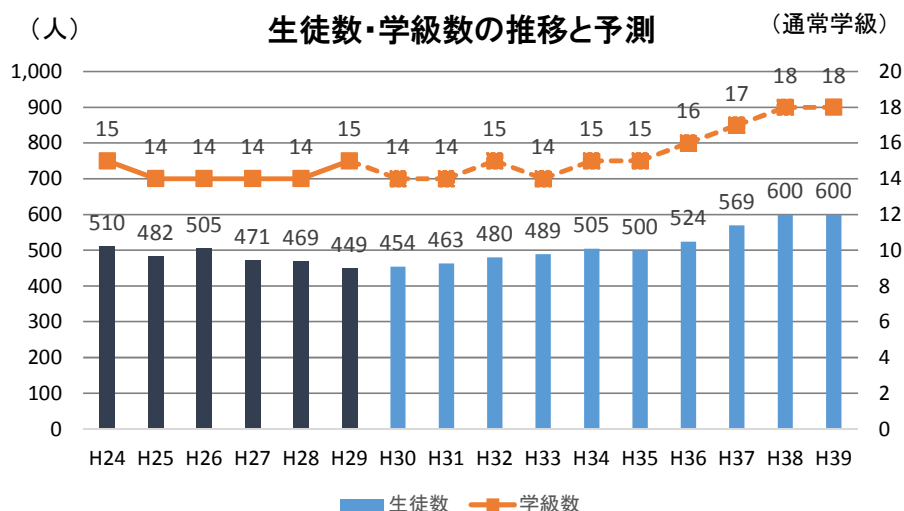
小学校施設状況

施設	建築年月日	耐震性
校舎1	S49.10	有
校舎2	S52.3	有
校舎3	S60.2	有
校舎4	S54.10	有
体育館	S54.10	有

平成24年度以降の児童数は減少傾向が見られましたが、平成30年度以降は元の児童数の水準に戻るため、全体として大きな変動は見込めません。



土浦第五中学校の現状と課題



学年別生徒数・学級数の状況

学年	生徒数	学級数
1学年	145	5
2学年	143	5
3学年	161	5
計	449	15
(特別支援)	14	2

※平成29年5月時点

※左のグラフについては、特別支援学級児童数を除いています。

中学校施設状況

施設	建築年月日	耐震性
校舎1	S53.12	有
校舎2	S57.3	有
校舎3	H18.2	有
校舎4	H24.3	有
体育館	H17.2	有

平成32年度頃から生徒数の増加傾向が見込まれます。それに伴い、学級数も増加傾向が見込まれます。

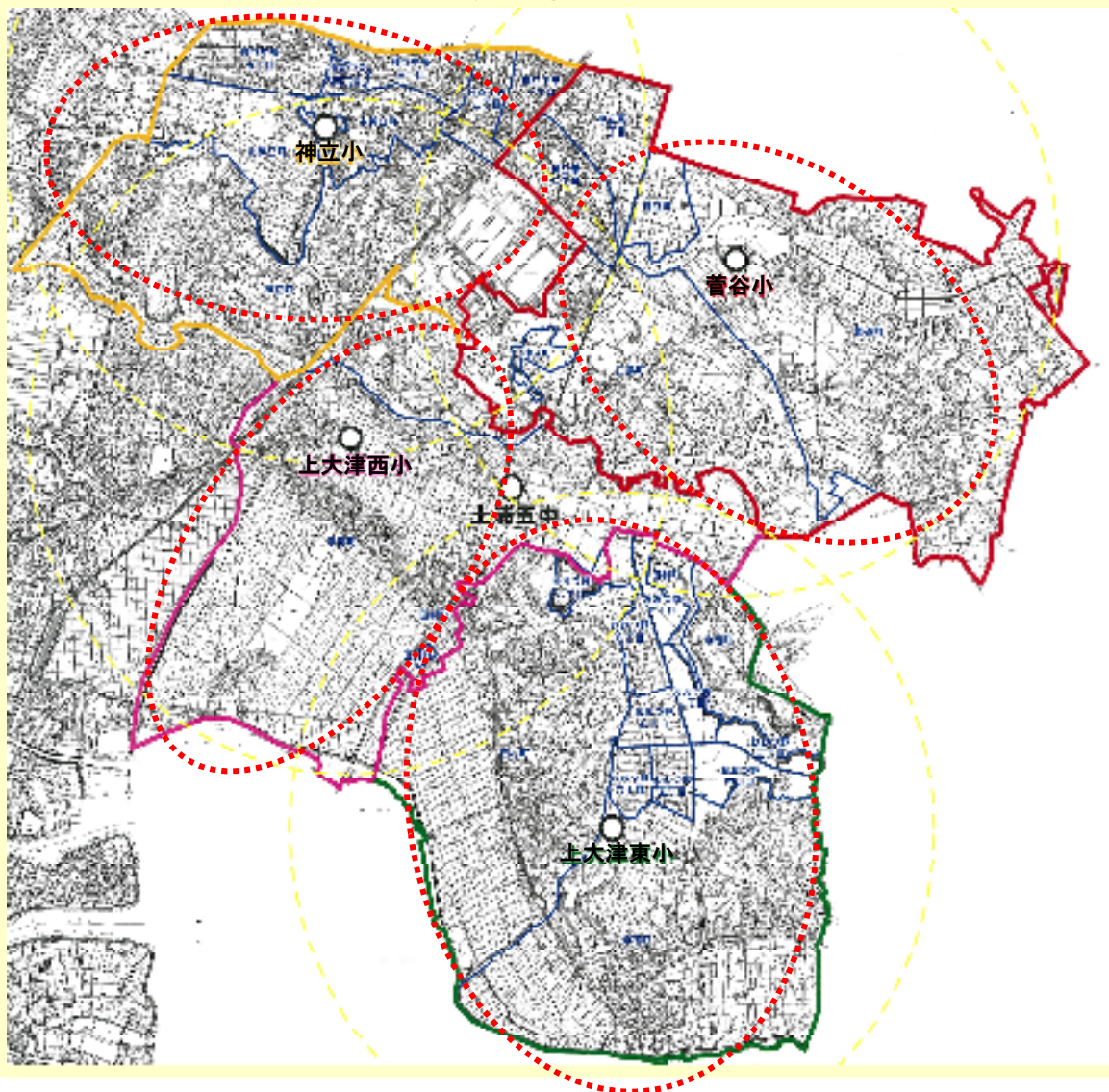
■上大津地区の人口

(人)

	H19	...	H24	H25	H26	H27	H28	H29
上大津地区人口	17,503	...	17,793	17,934	17,795	17,634	17,849	17,825

※各年5月の常住人口

■上大津地区における通学区域の状況



■上大津地区における小学校別の児童数・学級数の状況

(平成 29 年 5 月現在)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計	特別支援
上大津西小学校	児童数	5	13	9	9	8	8	52	0
	学級数	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)※		(5)	(0)
菅谷小学校	児童数	22	26	18	25	33	20	144	8
	学級数	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(6)	(2)
上大津東小学校	児童数	51	38	58	42	35	53	277	16
	学級数	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(2)	(11)	(3)
神立小学校	児童数	61	73	72	77	67	76	426	38
	学級数	(2)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(13)	(5)

※上大津西小学校の5学年と6学年は複式学級となっています。

■今後のスケジュール

実 施 時 期	内 容
平成29～31年度	・保護者及び地域住民等への説明会の実施（平成29年8月） ・上大津地区小学校適正配置検討委員会の開催（平成29年11月～） ・上大津地区小学校の適正配置実施計画の策定（平成31年度）
平成32年度以降	上大津地区小学校適正配置実施計画に基づき、適正配置に向けた環境整備を進める。

【お問い合わせ先】



土浦市 教育委員会 学務課

〒300-0036 土浦市大和町9番2号 TEL:029-826-1111(代表) FAX:029-826-2750

(平成29年8月発行)